

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
日本ヒューマンセラピー モニー専門学校		平成11年7月22日	福島 繁		〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町7番30号 (電話) 0463-27-2002	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人鶴嶺学園		昭和60年11月1日	竹内恵司		〒254-0036 神奈川県平塚市宮松町15番16号 (電話) 0463-30-3231	
目 的	企業との密接な連携のもと、フューネラル業界に必要な技術・見識に加え、実務に不可欠な接遇、ホスピタリティを身につけ、常に最新の技術を修得し、高い実践的能力を持つ即戦力となる人材の養成を目的にします					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
商業実務	商業実務 専門 課程	フューネラル学科	2年(昼)	1710単位時間 (又は単位)	平成21年文部科学 省第22号	-
教育課程	講義		演習	実験	実習	実技
	1,080単位時間 (又は単位)		420単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	510単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
70人		91人		6人	0人	6人
学期制度	■前期：4月1日～9月15日 ■後期：9月16日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期・後期ごとに、試験等による成績評価 教育課程表に定める授業 時間数の70%以上の出席	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月10日 ■夏 季：8月1日～9月15日 ■冬 季：12月8日～1月7日 ■学 年 末：3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級：1年次の履修科目全てにおいて合格(60点以上)であること 卒業：2年次の履修科目全てにおいて合格(60点以上)であること 学校の定める内部・外部の資格を規定数以上取得	

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制（有） ■長期欠席者への指導等の対応 ・電話にて、本人及び保護者への日常的な連絡。 ・本人及び保護者面談の実施 ・家庭訪問 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 なし ■サークル活動（有）
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界 葬儀社 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合100% 	主な資格・検定	葬祭ディレクター2級 アソシエイトエンバーマー
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 6名 ■中退率 7.7% 平成25年4月1日在学者 78名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 72名（平成26年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 ・経済的理由 ・進路変更 ・体調不良 ■中退防止のための取組 ・本人との日常的な面談 ・複数教員、職員による声かけ、面談の実施 ・保護者との情報共有、面談 		
ホームページ	URL: http://www.humanceremony.ac.jp		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

葬祭企業数社の役職員や、葬祭業界の各部門の専門家と協同し教育課程を編成する。

専門性の高い技術を持ち現場対応力の高い人材の育成をテーマとし、教育課程編成委員会と連携して、高度な職業教育を通じて自立した職業人育成を目指せるような教育課程を編成する。葬祭業界における産業振興の方向性や、新しく身に付けるべき知識やスキルを、実務に携わる専門家の意見を随時取り入れることによって、教育課程に反映し改善させていく。また、教育課程編成委員会の委員所属先以外の企業にも、別途求める人材や最近の動向についてのアンケートを実施し、その結果を教育課程編成委員会において活用する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 6 月 30 日現在

名 前	所 属
竹内 恵司	(一社) 日本遺体衛生保全協会 理事長、(株)サン・ライフ 会長
竹内 圭介	(学) 鶴嶺学園 副理事長
境野 勝久	東洋思想研究家 道塾慶陽館 主宰
福島 繁	(学) 鶴嶺学園 日本ヒューマンセレモニー専門学校 校長
岩佐 洋子	(学) 鶴嶺学園 神奈川社会福祉専門学校 校長
林 茂	(学) 鶴嶺学園 事務局長
米山 誠一	(学) 鶴嶺学園 日本ヒューマンセレモニー専門学校 教務主任
武田 七郎	社会福祉法人 浦和福社会 理事、アルファクラブ 顧問、元全日本冠婚葬祭互助協会 理事
関口 博紀	(有)せきぐち造花店 マネージャー (卒業生)

(開催日時)

第1回 平成 26 年 3 月 25 日 9:30~11:00

第2回 平成 26 年 5 月 28 日 9:30~11:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

専門的な知識、技術、技能に加え『①グローバルな視点 ②ホスピタリティ精神 ③組織を動かすマネジメント能力』を座学だけでなく、実習・演習を通して身につけることによって、実践的かつ専門的なレベル・クォリティの高い人材を育成することを目指す。

専門的かつ最新の業界動向の知識が必要な、専門教育科目(PC 業務以外)の応用分野については、葬祭業界に長年携わっている専門家の講師を招いて授業を行う。現場実習(インターンシップ)においては、全国各地の葬祭企業を受け入れ先として確保し、少人数制できめ細かい実習指導を行えるようにする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
フラワーデザイン I	枕花、籠花、花束、白菊スロープ、洋花スロープ、洋花アレンジメント、生花の生産方法、仕入れ、流通など実技中心に総合的に学ぶ	株式会社サン・ライフ
葬祭業務校内実習	故人と接する際のマナーやご遺族への説明時における葬儀担当者の心構えを葬祭の現場に携わるものとの現実に即したシミュレーションやロールプレイングを交えながら実践的に学ぶ	株式会社サン・ライフ
ファイナンシャルプランニング II	葬祭にかかわる金銭的な部分(葬祭費用・相続・高額医療費請求)について、特性、手続き等について学ぶ。実際の事例を元にして演習を行い、フ	NPO 法人日本 FP 普及協議会

	アイナシナルプランニング資格の取得を目標にする	
斎場実習Ⅰ・Ⅱ	実際の葬祭会館において、葬儀担当者の補助として実際に葬祭実務に従事することでこれまでに学んできた知識や技術の更なる向上を図る	株式会社サン・ライフ
エンバーミング理論	遺体衛生保全の手段であるエンバーミングについてその歴史的な観点から実際にエンバーミングを行ううえで必要な技術、その理論について具体的かつ実践的に学びます。	一般社団法人 日本遺体衛生保全協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

葬祭企業等から専門の講師を招いて、フューネラルビジネスに関する実務に即した最新の動向等の知識を担当教員に講義し、学生への指導へと活かしていく。更に、担当教員を葬祭企業に派遣し研修を受講させることで、実践的かつ専門的な技術・技能の向上に努めている。

また、授業の進め方やシラバスの作成方法などに関する研修も実施し、常に授業方法の改善を工夫する姿勢を教員に徹底させる。

これらの研修は、学期毎に「教員による自己評価」と「学生による教員評価」を実施し、学務主任より個々の教員に結果を示しつつ、改善すべき点を指摘し、必要な研修を判断して計画的に受講させることを研修規定に基づいて決定している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年6月30日現在

名 前	所 属
竹内 恵司	(一社) 日本遺体衛生保全協会 理事長、(株)サン・ライフ会長
境野 勝久	東洋思想研究家 道塾慶陽館 主宰
武田 七郎	社会福祉法人 浦和福祉会 理事、アルファクラブ 顧問、元全日本冠婚葬祭互助協会 理事
関口 博紀	(有)せきぐち造花店 マネージャー (卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.humanceremony.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法) URL: <http://www.humanceremony.ac.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程フューネラル学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			葬祭概論Ⅰ	葬祭の起源、意識・宗教宗派・葬祭に関わる手続きや相談など、葬祭ディレクターとして必要不可欠な知識を養う（葬祭ディレクター2級学科対応）	1通	60		○		
○			フューネラルビジネス総論	お亡くなりになられた方に対する接し方ご家族への心配り、挨拶、言葉遣い姿勢など葬祭業に欠かせない接遇のほかこれまでの葬祭における事例を研究する	1通	60		○	△	
○			儀礼文化	人間社会における生活の行動様式である冠婚葬祭・年中行事などから、日本特有の儀礼儀式文化と人間関係の絆・ふれあいを学ぶ	1通	60		○		
○			ビジネス能力	社会人として不可欠なルール（名刺交換、訪問面談マナービジネス文書作成、自己PRなど）を学び、実社会で即役立つ知識を学ぶ	1通	60		○	△	
○			ビジネス文書	実務に役立つ文書作成技能について、知識と技能の基本を身につける	1通	60		○	△	
○			ホスピタリティ実務	福祉知識、心構え、車椅子操作、福祉施設見学などを通じ、高齢者、視覚障害、お身体の不自由な方への接し方を学ぶ	1通	30			○	
○			コミュニケーション実務	敬語表現、話し方の組み立て、対話方法、聞く能力を磨くことなど、社会人として必要なコミュニケーション能力を養う	1通	30		○		
○			接遇マナー	挨拶、言葉遣い、身だしなみ、電話マナー顧客心理の理解、サービス実務の基本、実践、苦情処理など、サービス業として必要なマナーを学ぶ	1通	60		○		
○			パソコン実習	ビジネスにおいて必要とされる Word & Excel からプレゼンテーション、画像、映像加工までを統括的に学ぶ	1通	60		△		○
○			総合講座	文化体験やスポーツ活動各講座を通して幅広い教養を身につける学校独自の講座	1通	30				○

○			施行技法 (室内装飾) I	幕張や祭壇飾りの技術、心構えやその歴史的・宗教的な背景や実務に必要な知識を講義と実習を通じて学ぶ(葬祭ディレクター1級・2級幕張試験対応)	1通	60		△	○	
○			施行技法 (司会) I	式進行について、発音・イントネーション言葉使い、忌み言葉、司会の技法などを学ぶ(葬祭ディレクター1級・2級司会試験対応)	1通	30		△	○	
○			斎場実習 I	葬祭会館での基本業務姿勢を体験し葬祭業者の心得を学ぶ	1通	120				○
	○	これらから3つ選択	フラワーデザイン I	枕花、籠花、花束、白菊スロープ、洋花スロープ、洋花アレンジメント、生花の生産方法、仕入れ、流通など実技中心に総合的に学ぶ	1通	60		△	○	
	○		施行技法 (葬祭受付・遺送)	葬儀受注の電話対応、ストレッチャー実習、死亡届、火葬許可証、病理・行政・司法解剖・神封じなどの習慣 ご安置方法、枕飾り、ドライアイスの特性等を総合的に学ぶ	1前	60		△	○	
	○		フューネラルマネジメント	葬祭業の実態・業界動向など就職に向けての心構えから施設の運用まで学び今後の業界展望を占う	1通	60		○		
	○		ファイナンシャルプランニング I	葬祭にかかわる金銭的な部分(葬祭費用・相続・高額医療費請求)について、特性、手続き等について学ぶ。	1後	60		○		
	○		医学概論	人間の死を中心にした基礎的医学を学びます。	1前	60		○		
	○		葬祭関係法規	日本で葬祭を実施する上で、理解する必要のある法律について学ぶ	1通	60		○		
○			葬祭概論 II	海外の事情、葬儀と習俗、社葬・団体葬の知識、葬儀の関連法規など、葬祭ディレクターとして必要不可欠な諸知識を養う(葬祭ディレクター1級学科試験対応)	2前	60		○		
○			フューネラルディレクティング企画演習	ご遺族の意向をくみ取りながら、葬儀の企画・立案・セレモニーとしての施行などを幅広い角度から分析し考え方を習得する	2通	60		○		
○			受注技法 (涉外)	顧客の視点に立ち、顧客のニーズを引き出し、満足いくお別れを実現するために必要な知識・技術について学ぶ	2通	60		○		
○			エンゼルメイク	ご家族にとって看取りの一場面となるような死化粧についての知識・技術を身につける	2前	30		○		
○			グリーフサポート	ご遺族の悲嘆をどのように癒すかを臨床心理を基に学術的に学ぶ(キューブラ・ロスの理論、悲嘆とは、悲嘆の処理、悲嘆のケアなど)	2通	60		○		

○			公衆衛生	死後の体の変化やターミナルケア及び各感染症について学びます	2 前	30		○		
○			宗教と葬儀	宗教儀礼（天台宗・真言宗・浄土真宗・臨済宗、曹洞宗の葬儀の捉え方、葬送方法）を学ぶ	2 通	60		○		
○			ゼミナール	少人数グループでの自主的学習を進め、自らフューネラルに関連するテーマの調査・学習を行うノウハウを学ぶ	2 通	60			○	
○			エンバーミング理論	遺体衛生保全の手段であるエンバーミングについてその歴史的な観点から実際にエンバーミングを行ううえで必要な技術、その理論について具体的かつ実践的に学びます。	2 通	60		△		○
○			総合講座	文化体験やスポーツ活動各講座を通して幅広い教養を身につける学校独自の講座です	2 通	30				○
○			葬祭業務校内実習	故人と接する際のマナーやご遺族への説明時における葬儀担当者の心構えをシミュレーションやロールプレイングを交えながら実践的に学ぶ	2 前	60		△	△	○
○			斎場実習Ⅱ	実際の葬祭会館において、葬儀担当者の補助として実際に葬祭実務に従事することでこれまでに学んできた知識や技術の更なる向上を図る	2 後	120				○
	○	これらから4つ選択	施行技法（室内装飾）Ⅱ	幕張や祭壇飾りの技術、心構えやその歴史的・宗教的な背景や実務に必要な知識を講義と実習を通じて学ぶ（葬祭ディレクター1級・2級幕張試験対応）	2 通	30		△		○
	○		施行技法（司会）Ⅱ	式進行について、発音・イントネーション言葉使い、忌み言葉、司会の技法などを学ぶ（葬祭ディレクター1級・2級司会試験対応）	2 通	30		△		○
	○		フラワーデザインⅡ	枕花、籠花、花束、白菊スロープ、洋花スロープ、洋花アレンジメント、生花の生産方法、仕入れ、流通など実技中心に総合的に学ぶ	2 通	30		△		○
	○		和装着付け	主に参列する親族で使われる和装の喪服の着付けについて学ぶ	2 後	30				○
	○		ファイナンシャルプランニングⅡ	葬祭にかかわる金銭的な部分（葬祭費用・相続・高額医療費請求）について、特性、手続き等について学ぶ。実際の事例を元にして演習を行い、ファイナンシャルプランニング資格の取得を目標にする	2 前	30		△		○
	○		フューネラルマーケティング	葬祭業界の市場調査、レポート及び海外の葬祭事情について学ぶ	2 通	30		○		

	○		解剖学	エンバーミングを行ううえで不可欠な解剖学の知識について学ぶ	2 通	30		○		
	○		病理学	葬儀を行う上で必要な病理学の知識、特に、病気の進行が与える葬儀への影響について学びます。また、病理の基礎としての微生物学もあわせて学びます。	2 通	30		○		
合計			39 科目			1710 単位時間 (単位)				